

※この科目では対面授業が適宜実施されます。詳細は担当教員にご確認ください。

授業科目名： **事業計画演習（細沼・早川） 【2021 秋学期開講分】**

科目区分： 演習（発展）

必修・選択の別： 必修

配当年次： 2 年次

単位数： 4 単位（学習期間 2 学期）

担当教員： 細沼 諒芳

副担当教員： 早川 智也

オフィスアワー（授業相談の受付）：

e ラーニングサイトおよびメールでの質疑応答を受け付けています。

（メールアドレスは大学院グループウェアのアドレス帳でご確認ください）

1. 授業の概要

受講生が実際に起業を行うもしくは所属する企業において新規事業の発案を行うことを想定し、実社会にて通用する事業計画書を作成する。またその作業を通じて、アントレプレナーシップにおける様々なスキルを身に着ける。（※営利非営利は問わない。）計画の実施に必要な収支計画・資金調達計画なども設計を行い、中間および最終報告会において、教員および学外専門家からの評価・指導を頂く。

2. 学習目標

当大学院 MBA コースの集大成として、他の各授業で習得した知識や方法論も用いながら、事業計画を立案できるようにすること。またその事業の実現性について、精査・検証・強化をしていけるようになること。

3. 当ゼミの特色

グローバル化が進む中、日本の多くの企業が外国との接点を持つことになる。今後の国際ビジネスの展開のための、市場分析、将来予測、政治・経済・文化・歴史など、さまざまな角度からサポートする。激動する国際経済のダイナミズムを肌で感じながら、豊かなビジネスセンスと失敗しない行動力を備えた人材を育成し、社会で通用するビジネスプランの作成をサポートする。

4. 求める受講者

現在、国際ビジネスに携わっている方、または将来、国際ビジネスに携わりたいと考えている方を求めている。

5. 授業計画

1. 演習の進め方について説明
2. 事業ビジョン、ミッションステートメント
3. ビジネスモデル
- 4~15. マーケティング戦略
16. 中間報告
17. 中間報告での質疑の反映
18. 資金調達戦略
- 19~31. 事業計画書全体の見直し
32. 最終報告

※この科目では対面授業が適宜実施されます。詳細は担当教員にご確認ください。

6. 受講上の留意点

各ゼミで提示されるスケジュールに沿ってご受講ください。

※中間報告を行わなかった場合、授業の後半課程に進むことはできません。翌学期に改めて中間報告を行って頂きます。

(1 学期留年することになります)

※以下のような場合には教員の判断の下、中間・最終の各報告会への参加を許可しない場合があります。

- ・最低限の形式基準を満たさない
 - ・教員の指導や助言を受けての改善がみられない
 - ・直前での無許可のテーマ変更
- 等

7. 成績評価基準

平常点 (40%) + 中間報告 (10%) + 最終報告 (50%)

最終報告の評価項目は以下のとおり

- | | | |
|---|---------------|-----|
| 1 | ビジョン／理念／志 | 10% |
| 2 | ビジネスモデル・収益性 | 10% |
| 3 | 市場性・スケラビリティ | 10% |
| 4 | 競争優位性 | 10% |
| 5 | 裏づけ調査による根拠 | 10% |
| 6 | 必須要素の網羅と完成レベル | 50% |

※この科目は、以下の資料を期日厳守で提出頂くことが必須となります。

- ・プレゼン資料 (Power point)
- ・事業計画書 (Word)
- ・Before & After 表

8. 必読書籍・参考書籍

授業内容とスケジュールに合わせて教員から適時提示する

9. その他

「事業計画演習」は年間で4単位となるため、【春・秋】もしくは【秋・春】の履修登録の際には、それぞれ2単位（1科目）として扱います。後半学期の履修登録の際には、既に2単位を登録済み（履修中）と考えますので、履修できる単位数は11単位までとなります。

基本的に毎月1回対面授業を予定しています。